

# パネル文学展のご案内

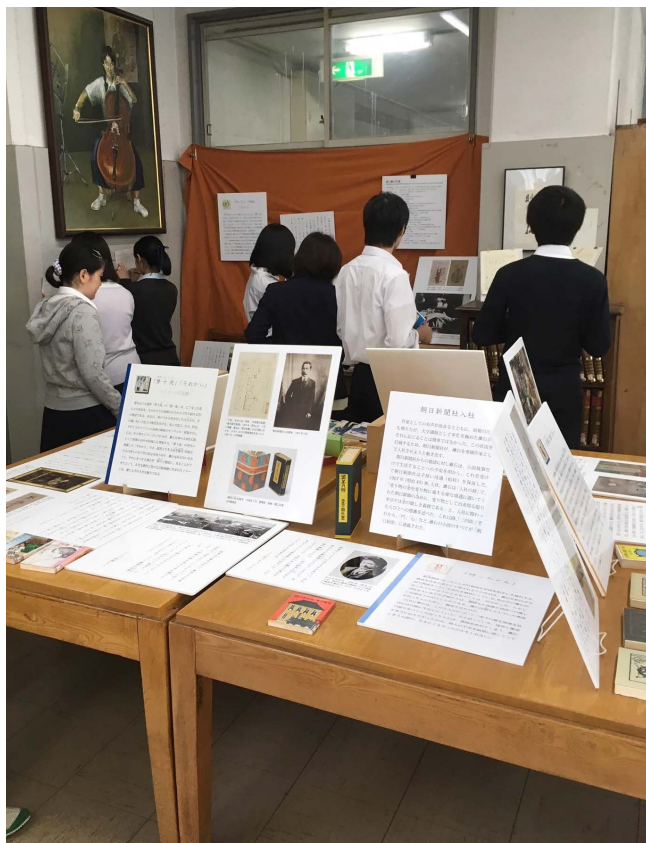
神奈川近代文学館では、学校図書館や文化祭での展示や授業のために、6種類のパネル文学展を用意しています。いずれも過去に当館で開催した展覧会を20～50点のパネル文学展に再構成したものです。2008年（平成20）に開始したパネル文学展の観覧者は累計339校、約28万人（2025.3現在）を数えています。貸し出しをご希望の方は、メールフォームまたはFAXでお申し込み下さい。（詳細は本案内2ページ目の【申込方法】を、各パネル展の全体見本はページ末尾をご覧ください。）

図書室や文化祭で  
文学展を開いてみませんか？  
データ版はパワーポイントや  
オンライン授業にも！  
公共図書館等でもご利用ください。

〈パネル文学展メニュー〉

- ①夏目漱石展（データ版あり）
- ②中島敦展（データ版あり）
- ③森鷗外展
- ④太宰治展
- ⑤与謝野晶子展
- ⑥佐藤さとる『コロボックル物語』展

## 展示風景 2018年パネル文学展「夏目漱石」を開催した横須賀高校の展示風景とアンケート



原稿の表現とかを直したあとが  
たくさんあって、こういうのは  
初めて見たけど、おもしろい  
と思った。－生徒

パネル展を観覧して、漱石の作  
品は漱石の人生の影響を大きく  
受けていたことが分かりまし  
た。－生徒

順番に観ていくと漱石のエピソー  
ドや作品のあらましが概ね理解で  
きるようになっており、コンパク  
トですが内容の濃いパネルである  
と思いました。人気のコミックの  
絵もあり、生徒たちの導入として  
良いですね。－教員

作品は読んだことがありましたが、  
作者の性格や人生を知った上  
でもう一度読んでみたら、また  
違ったとらえ方ができそうです。  
こういった展示は大切だなと感じ  
ました。－保護者



## 【貸出について】

（貸出期間） 1 か月を目途に、協議のうえ決定。

（貸出料） 無料。

（パネル点数） 約 30 ～ 50 点（展示スペース等に応じて展示点数を減らすこともできます。）

（運 搬） 宅配便、公用車など展示パネルの運搬にかかる経費は利用者が負担。

宅配便の概算額＝往復約 5,000 円。

データ版（夏目漱石、中島敦のみ）は CD-ROM（要返却）を送付します。

（報 告） 返却時に、観覧者（利用者）数などの報告が必要です。会場スナップ写真や生徒さんの感想等もありましたら添えてください。

（そ の 他）

＊展示会は開催者と県立神奈川近代文学館・公益財団法人神奈川文学振興会との共催とする。

＊関連図書などによる補足展示などアレンジ可。

＊文学館紹介パネル、ポスター等の掲示にご協力ください。

＊肖像、資料のパネル展示に必要な著作権者等の許諾手続きは文学館が処理済です。

＊数に限りがあるため、予定が決まりましたらお早めにお申込ください。

## 【申込方法】

下記内容を FAX でお送りいただくか、神奈川近代文学館ホームページ内「パネル文学展」に記載の  
メールフォーム (<https://kanabun-or-jp.prm-ssl.jp/paneruten.html>) からお申込下さい。

折り返し御連絡し、スケジュールなどについて打ち合わせを行います。



また、御不明の点は随時下記までお問い合わせ下さい。

県立神奈川近代文学館 担当：総務課・加藤

〒 231-0862 横浜市中区山手町 110 TEL 045-622-6666 / Fax045-623-4841 / [event@kanabun.or.jp](mailto:event@kanabun.or.jp)

---

## 神奈川近代文学館 パネル文学展利用希望 FAX 送信用紙

学校名など団体名：

御希望のパネル文学展名：

御希望の利用期間と運搬方法：

利用の目的（例・文化祭展示、高 3 国語科オンライン授業）：

展示会場： ○をお付け下さい。

教室

図書館

常設の展示スペース

その他（ ）

御担当者のお名前・職名：

電話番号：

メールアドレス：

その他：御質問など

## パネル文学展 内容のご案内

## 1. 夏目漱石展 (データ版あり)

2016年春開催の特別展「100年目に出会う 夏目漱石」のダイジェスト版。肖像写真、原稿、絵画のほか、漱石の遺族から寄贈いただいた東京・早稲田南町の〈漱石山房〉に残された遺品などによって漱石の全体像をわかりやすく紹介します。



(夏目漱石展開催実績)

2008～2024年度：144校（旧版を含む、うちデータ版20校）／2024年度開催：県立神奈川総合産業高等学校、県立大和西高等学校、県立金井高等学校、県立港北高等学校、玉川学園、横浜市立仲尾台中学校、東京都立桜修館中等教育学校、鎌倉市立手広中学校（開催順 以下同）

## 2. 中島敦展 (データ版あり)

2019年秋開催の特別展「中島敦展－魅せられた旅人の短い生涯」のダイジェスト版。教科書にも取り上げられ、今日も多くの人々を惹きつけている「山月記」をはじめとする作品のほか、作家としてデビューするまでの軌跡や教師としての素顔も紹介しています。希望校には、中島敦が横浜高等女学校教員時代に作成した国語の試験問題（コピー・配布可）も合わせて提供します。



(中島敦展開催実績)

2008～2024年度：96校（旧版を含む、うちデータ版23校）／2024年度開催：県立横須賀高等学校、東京純心女子高等学校、捜真女学校、玉川学園、県立川崎高等学校、県立神奈川総合産業高等学校、川崎市立幸高等学校、県立永谷高等学校、県立横須賀南高等学校



### 3. 森鷗外展

2009年（平成21）に開催した「森鷗外展—近代の扉をひらく」のダイジェスト版。鷗外の肖像写真をはじめ、「舞姫」原稿、ドイツ留学ゆかりの品、子どもたちの写真、遺言書、著書初版本などで近代文学の世界を拓いた鷗外の生涯と作品世界を紹介します。

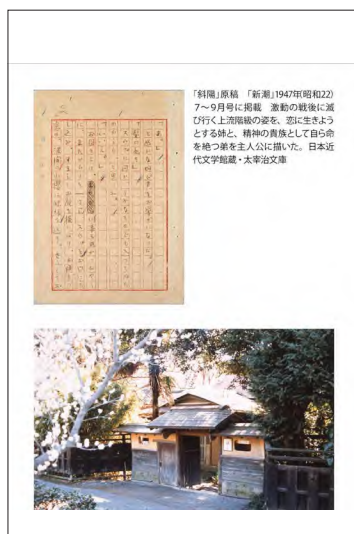


（森鷗外展開催実績）

2009～2024年度：31校、2機関／2024年度開催：県立神奈川総合産業高等学校

### 4. 太宰治展

2014年（平成26）春に開催した「太宰治展—語りかける言葉—」のダイジェスト版。没後60年以上の歳月を経てなお、多くの人々を惹きつける作品世界と、名作を生み出した苦闘の生涯を、肖像写真や原稿を通して紹介します。



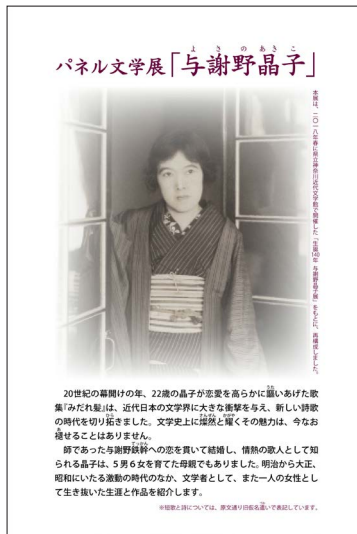
（太宰治展開催実績）

2014～2024年度：51校、1機関／2024年度開催：横浜市立岡津中学校、県立永谷高等学校、県立横浜氷取沢高等学校、二宮町立二宮中学校、横浜市立新羽中学校、県立横浜修悠館高等学校、県立神奈川総合産業高等学校、県立愛川高等学校、横浜女学院中学校高等学校、横浜雙葉中学高等学校



## 5. 与謝野晶子展

2018 年春、生誕 140 年を記念して開催した「与謝野晶子展－こよひ逢ふ人みなうつくしき」のダイジェスト版。第一歌集『みだれ髪』で新しい詩歌の時代を築き上げ、幅広いジャンルで活躍した情熱的な生涯を、草稿、書簡、短冊、遺品、著書初版本などで紹介します。

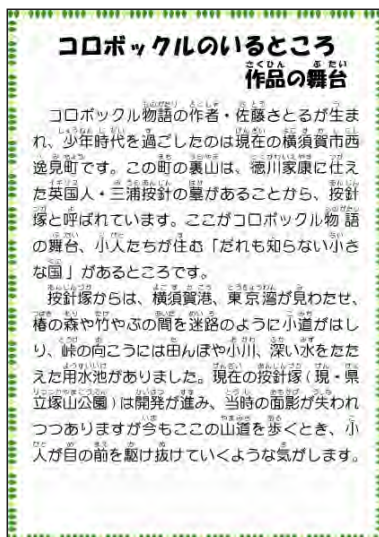


(与謝野晶子展開催実績)

2018～2024年度：15校／2024年度開催：県立川崎高等学校、県立西湘高等学校、東京純心女子高等学校、フェリス学院高等学校

## 6. 佐藤さとる「コロボックル物語」展

2007 年夏開催の「佐藤さとる『コロボックル物語』展」をもとに製作。日本を代表する児童文学作家・佐藤さとるの生涯と「コロボックル物語」誕生の背景を、肖像写真や原稿などの資料で親しみやすく紹介しています。全体の内容についてはお問合せください。



(佐藤さとる展開催実績)

2013～2024 度：23 校、3 機関／2021～2024 年度開催：横浜富士見丘学園、横浜市中央図書館、横浜女学院中学校高等学校

※パネル展1～5については、ご希望があれば「文豪ストレイドッグス」パネルも合わせて提供。その他ワークシートもあります。



用途に合わせて、抜粋してお使い頂くことも可能です。横型もご提供もきます。





## パネル文学展「中島敦」 一例（基本構成）

用途にあわせて、抜粋してお使いいただくことも可能です。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

何になる。持前の知識の蓄積と、中絶後に「回復者」であることを主張して  
 います。その内容は至しうで浅くもったとの指摘の的でもあります。  
 文芸方面でも、小説『浮城物語』が有名ですが、ついでに明治19年(1886)刊  
 文芸雑誌『文芸』に掲載された小説『浮城物語』に於いて、持前の知識の蓄積  
 の一環として、持前の知識の蓄積の一端を述べた。持前の知識の蓄積の一端  
 の一環として、持前の知識の蓄積の一端を述べた。持前の知識の蓄積の一端  
 の一環として、持前の知識の蓄積の一端を述べた。持前の知識の蓄積の一端

[illegible][illegible]

**家族への手紙①**

熊鷹行は生前、手紙を書く楽しみを人々に伝えた。その書、券と云い、宛に送ら  
 たりの手紙と送りあう手紙を郵へてします。特に熊鷹、種にあてた  
 手紙で『おとづら』や『おとづら』を郵へてする。日本のおとづらで送った  
 手紙の宛先は人知れず、わがやがて書き送ってします。心から  
 手紙を送る人達とては、おとづらに宛てた手紙の宛先は、心から、行  
 動に送ってします。



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、



宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、




宛先は京都 15040 (京都府) 7月 15日付、宛の  
 熊鷹行の御手紙と云い、熊鷹行の御手紙と云い、

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

5. 書き添える中絶書 一戦国から江戸まで

### I. 教科書への採用

1947(昭和22)年4月、文部省が戦後、13歳義務教育に初めて中絶の教科書として採用された。国定小中学校の国定教科書から7歳級国定教科書制度に移り、14年度からの教科書では初めて「国定小中学校教科書」が改題された。中絶教科書の採用が文部省に認められ、教科書として流通するようになったのは、この頃である。これ以後、国定教科書は国定教科書として教科書として流通し、中絶書は文部省に認定された教科書として教科書の品目分類に属し取り扱われるようになった。



国定中絶教科書と国定教科書 中絶の歴史	
著者	山田孝三
発行年	1947年
発行所	文部省印刷局
1. 著者	1. 山田孝三
2. 発行年	2. 1947年
3. 発行所	3. 文部省印刷局
4. 教科書	4. 国定教科書
5. 教科書	5. 国定教科書

国定教科書とは、国定小中学校の国定教科書として採用された教科書のことである。国定教科書は、国定小中学校の国定教科書として採用された教科書のことである。国定教科書は、国定小中学校の国定教科書として採用された教科書のことである。

国定教科書とは、国定小中学校の国定教科書として採用された教科書のことである。国定教科書は、国定小中学校の国定教科書として採用された教科書のことである。国定教科書は、国定小中学校の国定教科書として採用された教科書のことである。

[illegible]







## パネル文学展「太宰治」 一例（基本構成）

用途にあわせて、抜粋してお使いいただくことも可能です。



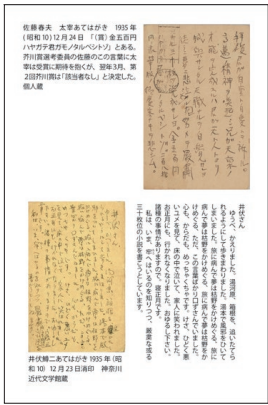
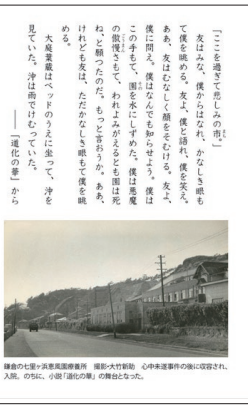
幼年時代から上京まで

[illegible]

こうこつ  
恍惚と不安の時代

[illegible]

心の中事件や情に感じを記す『妻と日記』(1930年)、『昭和51年5月30日』『溝口健二の肖像』(注文)とある。『妻と日記』は森田の学生新聞、大塚啓司の『市民・文芸』。加賀野村直樹が編集していた。



## 再出発

退院後、初期に別れた大津は、1938年(昭和13)9月、新しい人生を始めるため山梨県の市川村に滞在した。この地は、井伊氏二館めから約200メートル、富士山を望む郡屋で建てられた旧館で、作者高橋昌良が生まれ育っている。

翌年1月、井伊の紹介で久保美津子と結婚。大津は、教養高く、芸術家としての自分を深く愛してくる妻を得た。甲府市西条町の新家で、初めて大津に上巻記事として作品『黄金風船』が新刊で、『女学生』『大犬』『子爵の恋など』、日常の小さな出来事に光をそめて、清新な作品が次々み出された。1939年秋には、東京・三越に転居。細に囲まれた小さな借家で、午前中から夕方までと執筆を続け、リズムカルな語りを生かした『未来と夢』『大津の恋』など、大津治の代表作品となる作品を書き上げた。

1941年には長女・園子が誕生。故郷の家族と和解し、妻子を連れて病床の母を見舞うこともできた。戦争が激化するまでの日々は、文学者として家庭人として最も充実したものとなった。



もんデ　しと来明



那さま  
い。厭  
我慢な  
はい  
ます。  
なりま  
何もか  
げます

[illegible]

ふらいは  
無頼派の旗手として

[illegible]

母の言葉が、段々すると、こんどは、五歳のその子が、もう床から出しよう、と主張しはじめた。これならだめ、と怒り、手首を捻んだ。父も子にカチンかき山、舌切れを取り、母の手を離した。親子共に泣きかかせた。

このときは服をもまじく、容顔に感念に似ているが、しかし、元来だちでもなく、物語を創作する、という点に奇麗な術を体得している男なのだ。

ムカシノコトワザ話

ムカシノコトワザ話、聞かれないやうに妙なまで絵本を読んでもよしながからも、その胸中には、またおのすから個々の物語が隠れていっているものがある。

もう、このでは、あのトカゲントンが、いよいよ  
にや、新聞ひひて、新巻を、紙一熟後と  
す、トカゲントン、場の人を、東へ熟後と  
掛れ、各がひひて、海へ、トカゲントン、  
なの、いひて、トカゲントン、いひ  
の、火事へ、トカゲントン、火事へ、  
て、トカゲントン、伯父のお相でも、  
飲ん、でも、トカゲントン、  
こ、狂つて、いひ、いひ、いひ、いひ、  
トカゲントン、自然を、トカゲントン、

——トカゲントンの——



お願 け、 きじ、 お 「い」と思 ス 「私」と

でもスウプを「さし、すつと吸つてお母さまが、なまじり声をあげてにやうた。」

に何か、イヤなものでも入つていたのかしら。

「まは、何事も無かつたように、またひらりと一スウプをお口に通し込み、すましてお唇を横に向かへる窓の、満開の山に視線を送り、そうしては内にためたまふ。またひらりと「さし、スウプを唇のあたりに滑り込ませた。」

——料理——から



て好一れて、のて、い自

皆にあひそまがいかわり、友、友……といふも  
も感ぜぬ事がある。さういふ時は、ただ苦  
の相を合は、ただ苦を覚えればかり。さういふ  
もみはさうとは、懸命にお通達を濟して、無  
へとならば、わづかに合つてゐるほどの無  
の相をさへ、往來などで見捨てても、ざつと  
いふほどの不快な戦後には替われない有様で、  
事を知つていても、人を受する能力に於いて  
ころがあるやうでた。

——「閑火槍」



## 太宰治の生涯

——元来が鶴のせまい人間の私は、ただ君の才能に敬しをいしたので、はらははとさせられたがらも君は極みを突破して行けるものかと思つておりました。しかしもう及ばない。私の愚かであつたために、君は平素といふを感じていたのもしれません。うしろもうそこですすが、その家は恥じ入ります。左様なら、

—— 単伏舞二 太宰への手紙から

[illegible]



## パネル文学展「与謝野晶子」 一例（基本構成）

用途にあわせて、抜粋してお使いいただくことも可能です。

「20世紀の國語研究」の、20世紀の国語学を研究しようという、熱い思いが書かれた刊行は、近頃日本の文壇にも大きな影響を与え、新しい国語研究の方向性を示した。文学史上に記録と残るべき能力は、今もなお磨きださなくてはならない。

群青さんとは国語研究の道を共に歩み、情熱の燃え尽きたと知らぬふとふと、互いに心を奪われてしまった。研究の先、研究の途、研究の道に迷った時々の時代を、文学者として、また一人の女性として生きてきた道と道とを振り返ります。

『群青さん』 国語学博士、東京大学文学部教授・上野浩子

[illegible]

駿河屋の内部（複製）

[illegible]



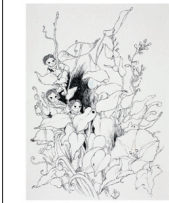
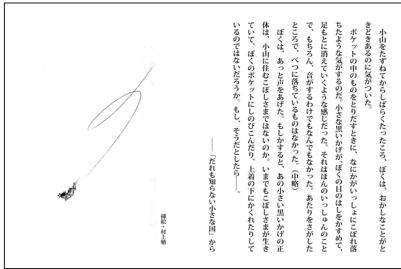
# パネル文学展「佐藤さとる『コロボックル物語』」 一例（基本構成）

用途にあわせて、抜粋してお使いいただくことも可能です。

## コロボックルってなんのこと？

日本には、昔から二つの小人の話が伝わっています。アイヌ民族に伝わるコロボックルと、古事記に出てくる少彦名命の伝説です。コロボックルと少彦名命には、カガイモという実のきやを用いることなど、共通点があります。もとは同じ小人の一族だった可能性があります。

コロボックル物語に登場する小人は、地元の人たちには「こぼしさま」と呼ばれ、先祖は「スナヒコサマ」、別名・コロボウシとかコロボツチともいわれています。アイヌ伝説のコロボックルや少彦名命に関係する、大昔から日本に住む小人の子孫であることはまちがいありません。身長は約3センチ、あまりにすばしいので人間の目にとまらず、話しているのは日本語ですが、早口すぎて、みづうの人は「ルルルル……」としが聞こえません。

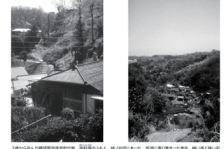


「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。

## 佐藤さとるの少年時代

佐藤さとるは1928年（昭和3）2月13日、横須賀市遼見町西谷戸の精ノ谷戸に誕生しました。二人の姉は双子、後に弟と妹が生まれています。父は横須賀海軍の機関兵でしたが造船がうまう、短歌を詠み、母は、姉たちが生まれるまで小学校の先生をしていました。わんぱくで、友だちと谷あいの町や皮計塚の野山を駆け回り、一方では、母が揃えてくれた童話を読んで、いろいろな空想をめぐらすことも好きな少年でした。

後年、佐藤さとるは、豊かな自然の中で友だちや家族と過ごした少年時代について「大昔な恵みだった」と語り、この幸せな日々は多くの作品の源泉となっています。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。

## 戦争の中で

小学校5年の初夏、思ひ出深い皮計塚をはなれて横浜市戸塚に引越しました。1940年（昭和15）、横浜三中（現・県立横浜緑ヶ丘高等学校）に入学。翌年太平洋戦争が始まり、父・完一はミッドウェー海戦で戦死してしまいました。学校生活も軍事教練に明け暮れましたが、その合間に図書館（現・横浜市中央図書館）で多くの本を読み回り、自分が最も好きなのは童話で、それを自分で書きたいと、強く思うようになっていきます。

1945年3月、勤労動員先の防空壕で卒業証書を受け取って間もなく、肺結核の診断を受け、家族と共に北海道の旭川に疎開。ここで終戦を迎えました。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。

「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。

## 童話を書き始める

終戦後、父亡き後の家族を支えるため、療養を中止して働き始めます。1946年（昭和21）春、疎開先から横浜に戻り、働きたが関東学院工業専門学校で建築を学びました。そのころ、児童文学の世界では新しい時代を担う子供たちの心を育てようとして「赤とんぼ」「銀河」などの童話雑誌が次々に創刊されました。そうした雑誌のひとつ「童話」に投稿した「大男と小人」が採用され、これをきっかけに児童文学者・後藤 橋根や平塚武二に教えを受け、本格的に童話を書くようになります。同じように童話作家を目指す長崎源之助、いぬい・とみこ、神戸淳吉とも知り合い、この仲間が1950年、同人誌「豆の木」を創刊しました。



## 「コロボックル物語」の誕生

戦後もなく書いた童話「失くした帽子」と「芋のひら島の物語」には、クリ・クルという名前の小人が登場します。このころから佐藤さとるは、小人の物語を書きたいと思っていたのです。幼い時がずっとおに様あついている小人の物語を。

1950年（昭和25）には、同人誌「豆の木」に「井戸のある谷間」を発表しました。按計塚を舞台に二人の若者を描いたこの短編には、戦争をくぐり抜けても変わらない故郷の風景、時を待てる輝きを失わない幼少時代への憧れがあらわれています。これらの作品にこめられた思いから、故郷の山をいざしりに訪れた青年が小人と再会するというストーリーが生まれ、「だれも知らない小さな国」の物語が姿を現し始めます。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。

「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。

## 「だれも知らない小さな国」の出版

幼い時からの空想のかけらが集まってできた小さな物語を、「心の中からとりだして、磨めた頃で編み立て、創造者に似た立場で物語世界を創る」作業が長い期間続けられました。「だれも知らない小さな国」は1957年（昭和32）夏にいったん完成しますが、平塚武二に「不満があるならもう一度書き直せ」と言われ、さらに2回書き直されました。翌年暮やっと書き上げますが発表する場がなく、佐藤さとるは「せめて自分の子どもには読んでもらいたい」と、自費でタイプ印刷の小さな本を作りました。

姉の誕生日を発行日としたこの本は、講談社の編集者の目にとまり、1959年8月に正式出版。コロボックル物語の第1作が、多くの読者のもとへと送り出されました。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。

## 村上勉が描くコロボックル

コロボックル物語第3作『星からあちた小さな人』（1965年（昭和40）講談社刊）の挿絵は、当時22歳の村上勉が描きました。佐藤さとるから「夢を夢のように描かないでいい」というファンタジーの創作理念をたたきこまれ、空想上の生き物であるコロボックルを絵に描くための試行錯誤が繰り返されました。「身長は3センチ5ミリ、目にもとまらぬ速さで走り、ジャンプする。イメージの元は蝶」といって、佐藤さとるの設定を発展させ、強烈なジャンプ力を持つコロロギを参考に大きな脚と目を描き、ただの小人ではない、人間とも虫ともつかない神秘的で野性的な生き物—コロボックルの絵家が完成しました。

村上勉の絵は、「だれも知らない小さな国」が実現し、今もここでコロボックルの生活が賑々と続いているような錯覚をおこさせます。

## コロボックルのいるところ 作品の舞台

コロボックル物語の作者・佐藤さとるが生まれ、少年時代を過ごしたのは現在の横須賀市遼見町です。この町の裏山は、池川家に仕えた英国人・三浦設計の墓があることから、皮計塚と呼ばれています。ここがコロボックル物語の舞台、小人たちが住む「だれも知らない小さな国」があるところです。

皮計塚からは、横須賀港、東京湾が見え、橋の森や竹やぶの隅を迷路のように小道がはしり、峠の向こうには田んぼや小川、寒い水たたえた用水池がありました。現在の皮計塚（現・県立塚山公園）は開発が進み、当時の面影が失われつつありますが今もこの山道を歩くと、小人が目のかげに現れていくような気がします。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。



「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。

「コロボックル」はアイヌ語で「小さな人」を意味する。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」は、アイヌ語で「小さな人」を意味する「コロボックル」のアイヌ語表記である。

## コロボックル物語 出版の歴史

コロボックル物語は1959年（昭和34）講談社より正式に出版されています。

### 目次表

1959年 第1巻 第1巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第2巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第3巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第4巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第5巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第6巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第7巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第8巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第9巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第10巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第11巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第12巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第13巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第14巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第15巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第16巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第17巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第18巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第19巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第20巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第21巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第22巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第23巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第24巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第25巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第26巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第27巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第28巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第29巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第30巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第31巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第32巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第33巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第34巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第35巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第36巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第37巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第38巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第39巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第40巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第41巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第42巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第43巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第44巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第45巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第46巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第47巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第48巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第49巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第50巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第51巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第52巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第53巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第54巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第55巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第56巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第57巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第58巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

1959年 第1巻 第59巻 「だれも知らない小さな国」 講談社 1959年 第1巻 第60巻 「だれも知らない小さな国」 講談社

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国

だれも知らない小さな国